ぱくぱくタイム

（中学校用）

平成２６年１月２９日

波佐見町立学校給食センター

　きょうの郷土料理は「ちゃんぽん」です。
長崎ちゃんぽんといわれるように長崎で生まれた中国料理です。

　今から１００年ほど前、中国から来た陳平順（ちんへいじゅん）さんは長崎の中華街で料理店を開きました。
　その頃、中国から来ていた貧しい留学生たちのために、おいしくてボリュームがあり、栄養満点の料理はないかと考えました。
　そして、生まれたのが「ちゃんぽん」です。
長崎の海や山でとれる新鮮な材料をたくさん使った「ちゃんぽん」は、留学生にとても喜ばれました。

　ちゃんぽんの名前の由来は、いろいろな説があります。たとえば、「ごはんですよ」という意味の福建（ふつけん）語の「シャンポン」という言葉を長崎人がなまって使ったのだろうといわれています。

　そして、いちごは波佐見町で作られたもので、「さちのか」という品種です。長崎県ではいちごがたくさん作られ、全国第４位の収穫量です。